

# 第27回日本小児歯科学会九州地方会大会の開催にあたって



第27回日本小児歯科学会九州地方会大会会長  
九州歯科大学 口腔機能発達学分野教授

牧 憲司

清秋の候、皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて平成21年度の第27回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会は、「子どもたちの健全な咬合育成を目指して」をメインテーマに九州歯科大学 口腔機能発達学分野が担当させていただき、本年の11月22日(日)北九州市小倉の地にて開催いたす運びとなりました。生涯にわたる口腔の健康を維持していくためには、小児期からの健全な咬合育成が根幹にあるといっても決して過言ではないと思います。少子高齢化の現代であるからこそ、保護者の目は一層子どもたちの口腔に向けられております。社会的にみても少子化対策として、未来を担う子どもたちのために多くの支援対策がとられ始めております。そのような意味からも今後、小児歯科の重要性は、一層クローズアップされてくるものと確信しております。

大会の内容としましては、特別講演Iは、さばし矯正歯科の佐橋喜志夫先生に「小児の歯列の側方緩徐拡大の臨床」と題して、上顎歯列の側方緩徐拡大による5つの効果、生活者が問題を抱える小児の咬合への臨床などを中心にご講演いただきます。特別講演IIは、九州歯科大学画像診断学分野教授の森本泰宏先生に「歯科領域における画像診断の進歩」と題して、基礎的な画像診断の解説から最先端の画像診断に関して、ご自身の研究成果もご紹介いただきながらご講演いただきます。

テーブルディスカッションは、小児歯科で非常に関心の高い4テーマについて4名の講師の先生方にそれぞれご依頼しておりますので、活発なご討論をしていただき明日からの臨床にお役立てていただきたいと思っております。

また歯科衛生士のための研修セミナーは、「妊娠期からのう蝕予防への取り組み」、「歯科衛生士がかかわる子どもの定期的支援 ―継続して患者さんに来院してもらうために―」と題しまして、2名の講師の先生にそれぞれご講演いただきます。歯科衛生士や臨床医にとって貴重なセミナーとなることを期待しております。

このように非常に充実したプログラムを準備いたしましたので皆様多数のご参加を心よりお待ちしております。本大会が九州地方会のさらなる発展と会員の皆様の臨床のスキルアップに繋がることを祈念しております。最後になりましたが本大会開催にあたりご協力とご協賛賜った関係各位に厚く御礼申し上げ、大会長挨拶とさせていただきます。